



長岡では古くから「足るを知る」という精神があるのをご存知でしょうか？

現在、長岡のみやげもので、「十分杯」というからくり器があります。

長岡藩の時代、藩主はこの器を用い、藩士に生き方を教えたといひます。

十分杯は器の8割以上そそぐとすべてがこぼれ落ちてしまうという(サイホンの)仕掛けがしてあり、欲張らず、8割くらいで感謝をしてすごすことで、万事うまくいくという教えを表すそうです。

足るを知る。

今あるものをすべて食べてしまえば全てなくなるが、将来に対して愛をもって育てていくことがみな幸せに通じる。

まさに長岡が伝えてきた米百俵の精神ですね。

都会は都会のいいところもありますが、

長岡でも自然や田畑から教えてもらうことは多いです。

自然豊かで農耕の盛んな長岡には、その精神も色濃く残っています。

合理的に考えればやらなくてもいいことも、未来を考えて動いている人が多い地域だと感じます。

長岡の精神、実は血の中に流れているかもしれませんね。

結婚式のお祝い等で、「足るを知る」を伝えるプレゼントとして十分杯なんかを選ぶと、粋な長岡人だと思われるかもしれませんね。

長岡に来たときにはちょっと探してみてください。